

【資料3】

環境保全型農業直接支払交付金 について

埼玉県農林部
農産物安全課

環境保全型農業直接支払交付金とは

【概要】

- 目的: 化学肥料・化学合成農薬の低減に加え、地球温暖化防止や生物多様性保全に資する農業生産活動に係る追加的コストを支援。
- 対象者: 農業者団体等

【取組内容】

地球温暖化防止・生物多様性保全

化学肥料・化学合成農薬 5割以上低減



①
有機
農業

②堆肥の施用

⑤草生栽培

⑧秋耕

③カバークロープ

⑥不耕起播種

④リビングマルチ

⑦長期中干し

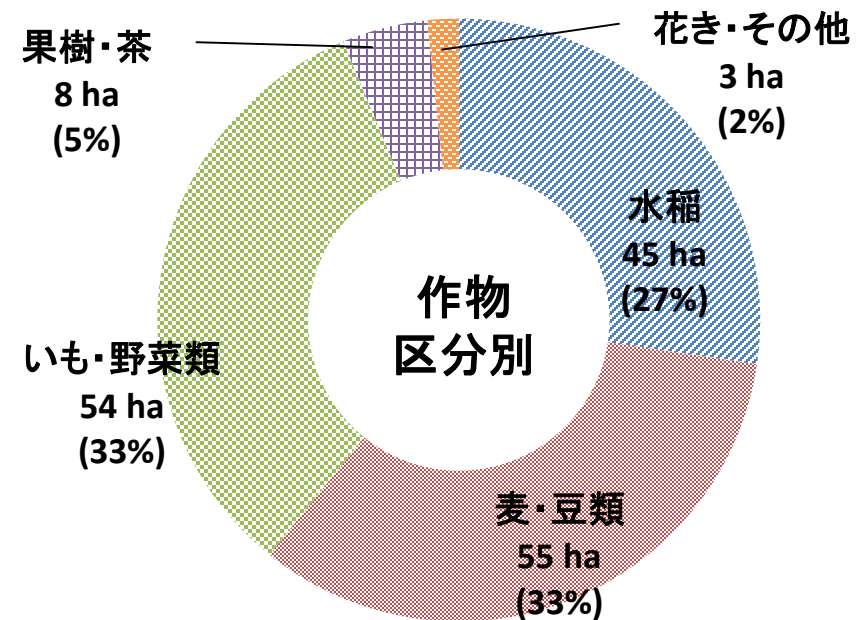
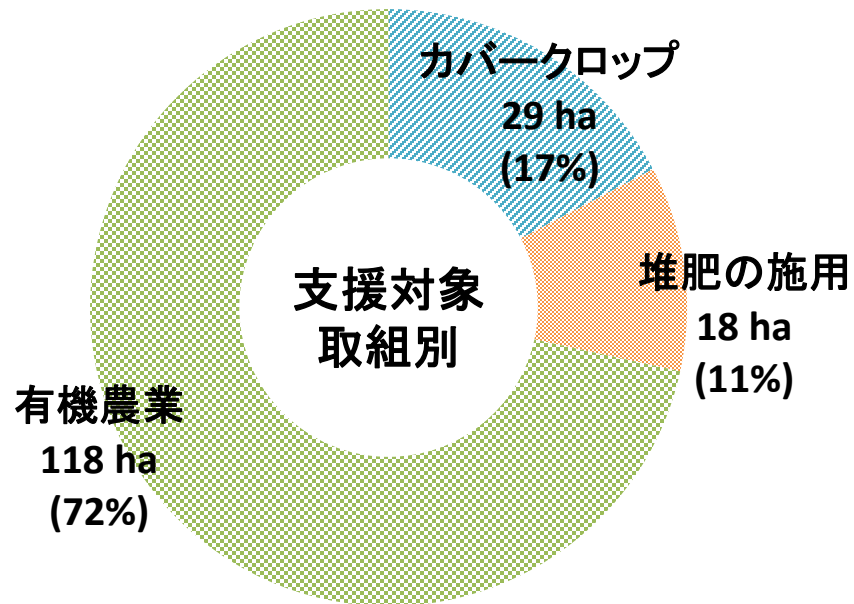
【交付単価】

取組	交付単価 (10aあたり)
有機農業	12,000円※ (そば等雑穀 3,000円)
堆肥の施用	4,400円
カバークロープ	6,000円
リビングマルチ	5,400円 (小麦, 大麦等 3,200円)
草生栽培	5,000円
不耕起播種	3,000円
長期中干し	800円
秋耕	800円

※炭素貯留効果の高い有機農業を実施する場合は、2,000円を加算（土壌診断+堆肥の施用又は緑肥の取組） 2

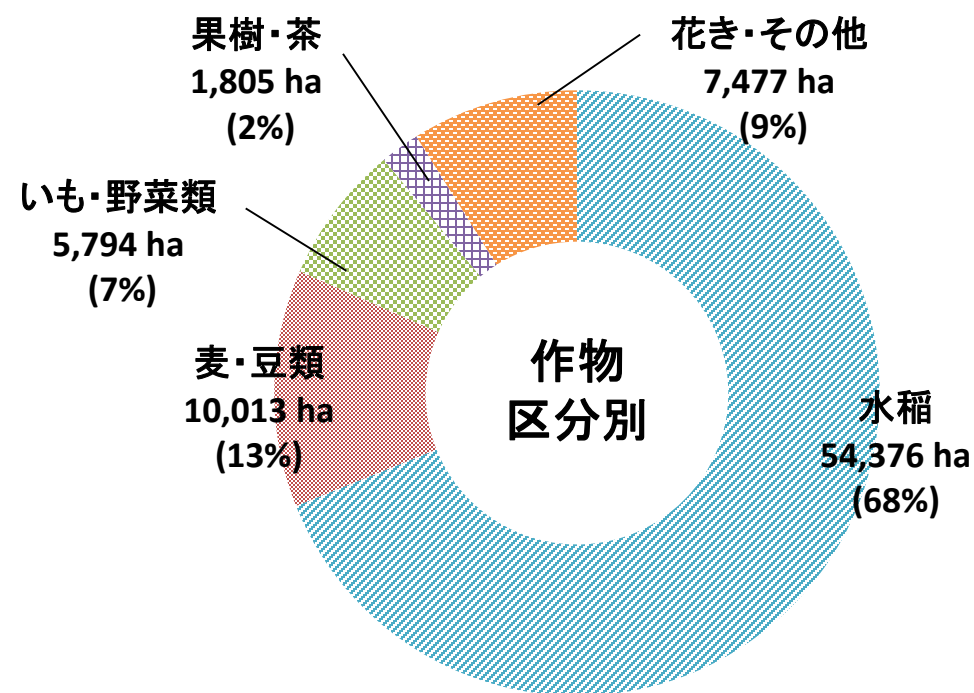
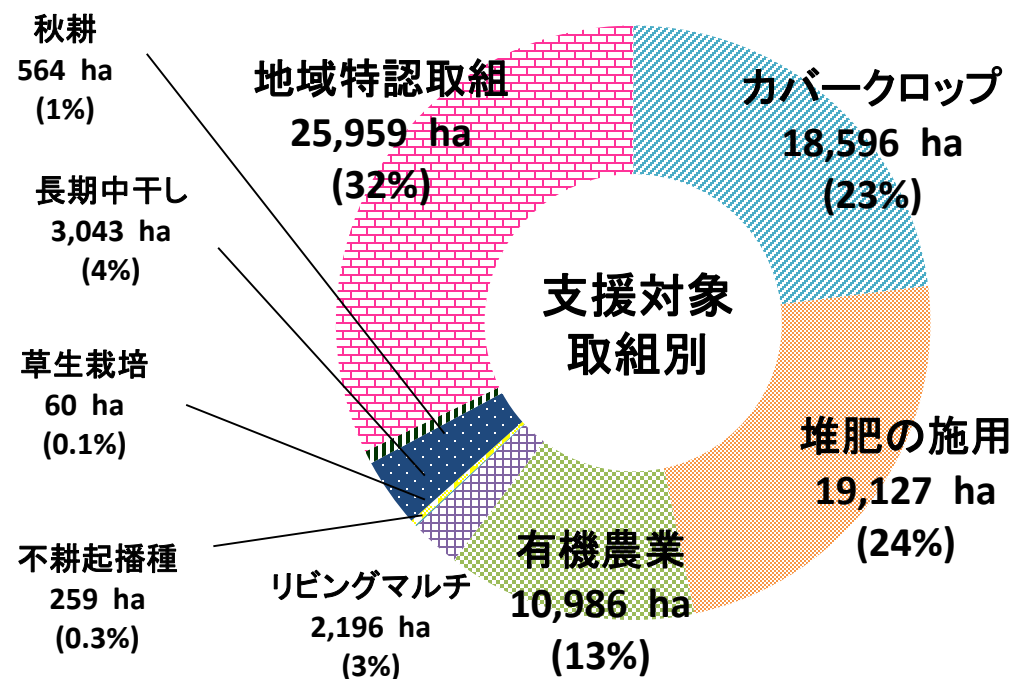
令和2年度の実績(埼玉県)

- 16市町で実施
- 交付件数：32 件
- 交付面積：165 ha (R1比：2%減)
- 交付金額：12,921千円



(参考)令和2年度の実績(全国)

- 46都道府県、841市町村で実施
- 実施件数：3,155件
- 実施面積：80,789 ha (R1比：1%増)
- 交付金額：4,451,324千円



令和3年度の申請状況

- 19市町で実施
- 取組件数：33 件
- 申請面積：209 ha
- 交付見込金額
合計 20,270千円

取組	申請面積 (ha)	主な取組市町村
カバークropp	54	本庄市、加須市、鴻巣市 等
堆肥の施用	21	小川町、吉見町、嵐山町 等
有機農業	133	小川町、上里町、加須市 等
(うち炭素貯留効果 の高い有機農業)	20	小川町、入間市、加須市
リビングマルチ	1	本庄市
合計	209	

環境保全型農業直接支払交付金事業 令和2年度事業評価及び令和3年度事業の進捗状況

○令和2年度事業評価(昨年度第2回の本委員会で送付した資料より)

※総合評価: A・・・順調

令和2年度事業実績	県としての事業評価		事業評価を踏まえての 令和3年度の事業展開の考え方
<p>1 事業実施状況 実施市町村数 16市町、実施団体数 32団体(法人含む) 実施面積 165ha、交付金額 16,630,580円</p> <ul style="list-style-type: none"> 取組別にみると、有機農業が最も多く、実施面積は118haで、令和元年度と比較して4ha減少した。ただし、単価見直しにより交付金額は14,108千円と、令和元年度と比較して4,419千円増加した。 今年度から新たに加わった有機農業の加算措置については、2団体が合計約2haのほ場で取組を行った。 	総合評価	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> 取組に当たっての要件が変化したことから、団体数および実施面積は微減した。 交付金額は、本県で最も取組の盛んな有機農業の交付単価が上がったことから、前年度比およそ1.3倍の増加となった。 上記を踏まえると、事業は順調であると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度には、新規に3市が取り組む予定である。 5か年計画では、有機農業の取組を行っている団体のうち、令和3年度以降に新たに加算措置への取組を予定している団体がある。 現在取り組み予定がない市町村にも本事業を周知し、令和2年度に新たに設定された取組(秋耕など)も含めて推進していく。



○令和3年度の進捗状況

- ・行田市、鴻巣市、深谷市の3市が新規に本事業に取り組んでいる。
 - ・加算措置(炭素貯留効果の高い有機農業)への取組申請は、令和2年度実績比10倍の増加となった。
- なお、現在取り組んでいない2市が、令和4年度以降の申請に向けて検討を進めている。

ご清聴ありがとうございました。